

万博レガシー

を未来へ

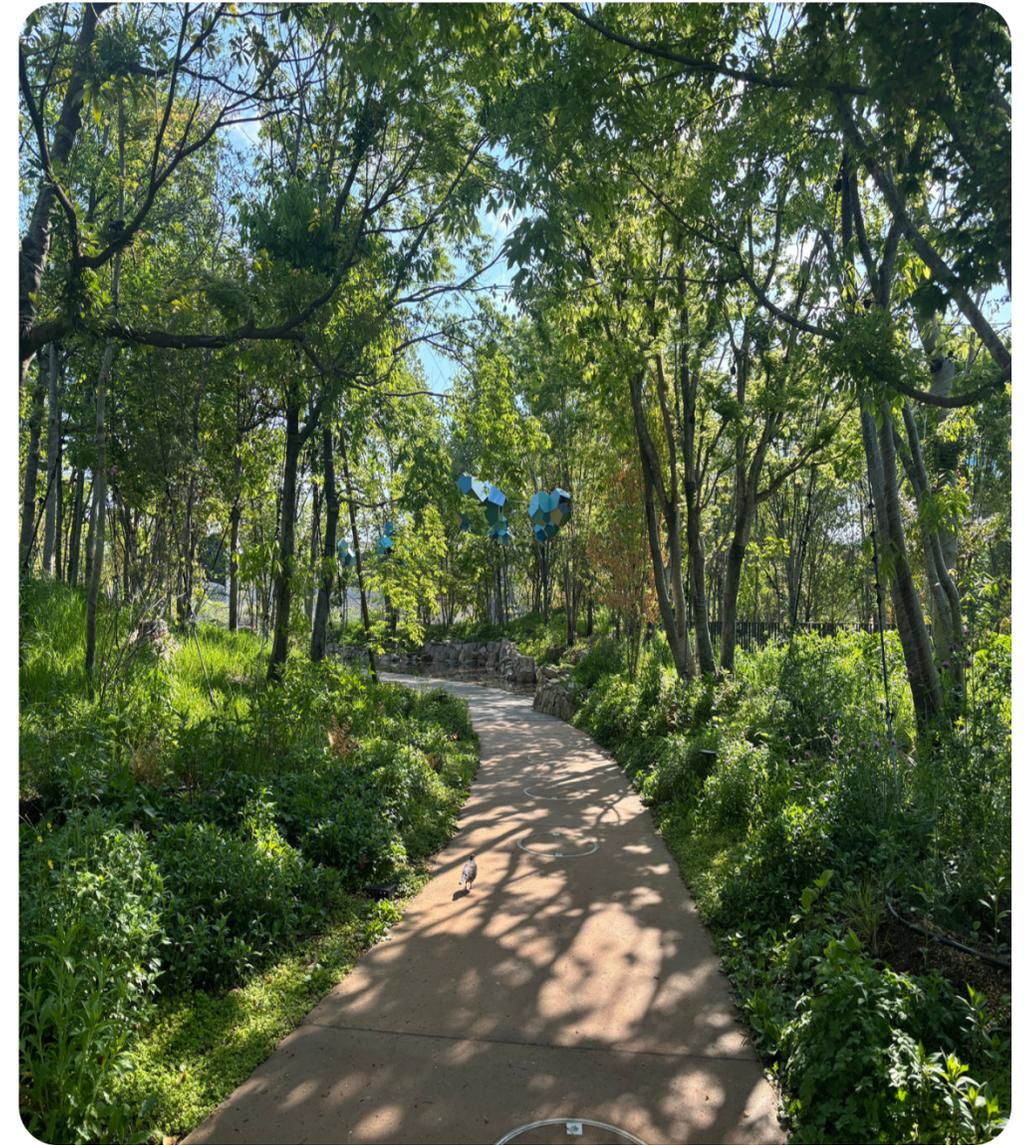
静けさの森 共鳴機構 (FoR)



名称

静けさの森 共鳴機構

Forest of Resonance Institute (FoR)

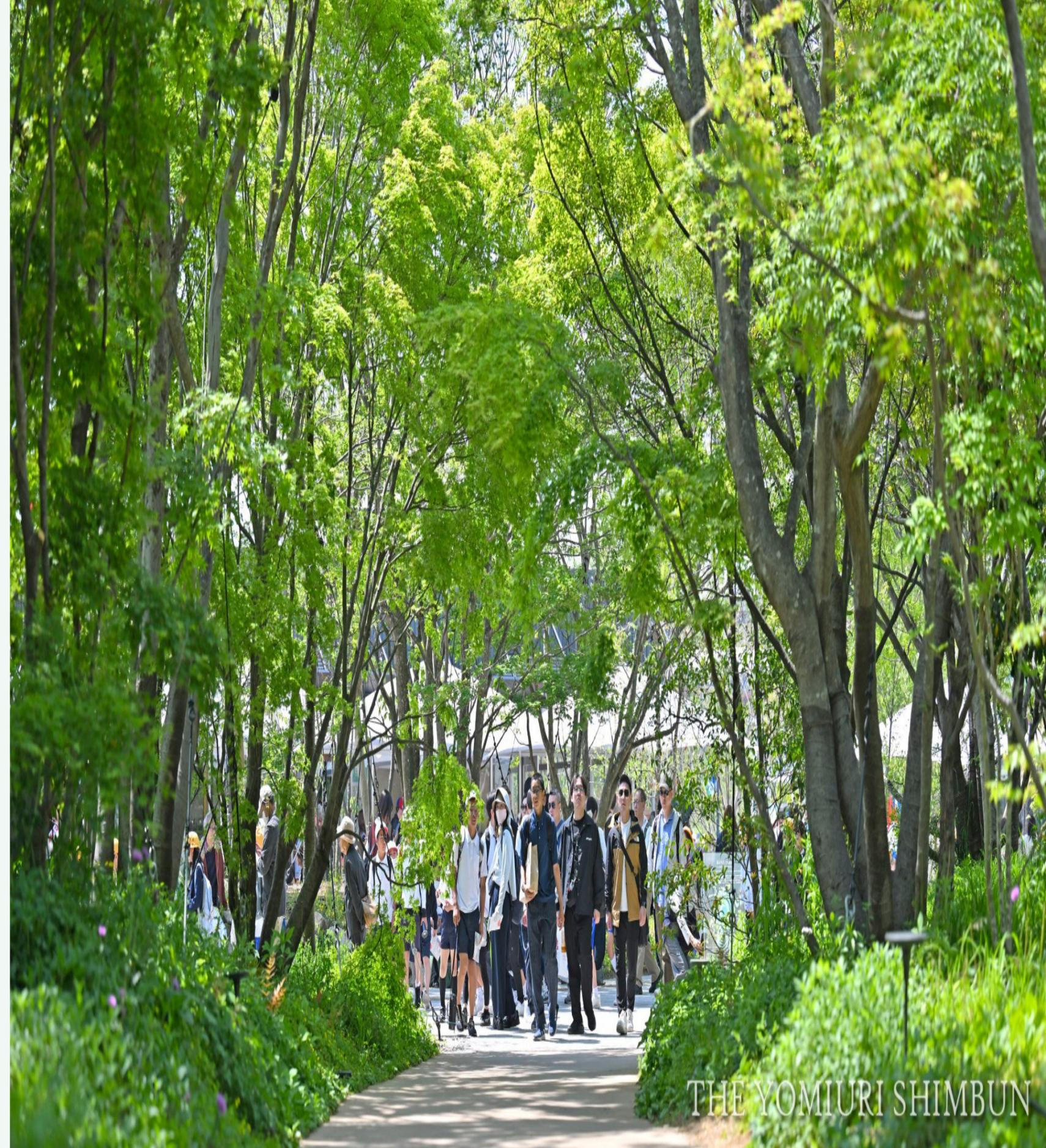


FoR設立の意義と背景

「静けさの森」プロジェクトから生まれたFoRは、2025年大阪・関西万博において誕生した同プロジェクトの理念と実践を、万博のレガシーとして未来へ継承・発展させることを目的に設立された組織です。

「静けさの森」を社会実験の起点と捉え、生態系保全、次世代教育、文化芸術、国際連携といった領域を横断しながら、人と自然、地域と世界の共鳴を促す新たな社会モデルの構築を目指します。

さらに、これらの理念と取り組みを、企業・研究機関・市民社会と共に社会実装へとつなげていくことを使命とし活動を進めます。



組織概要

一般社団法人 静けさの森 共鳴機構 (FoR) のご紹介

共同代表理事
藤本 壮介



共同代表理事
宮田 裕章



常務理事
忽那 裕樹



特 徴

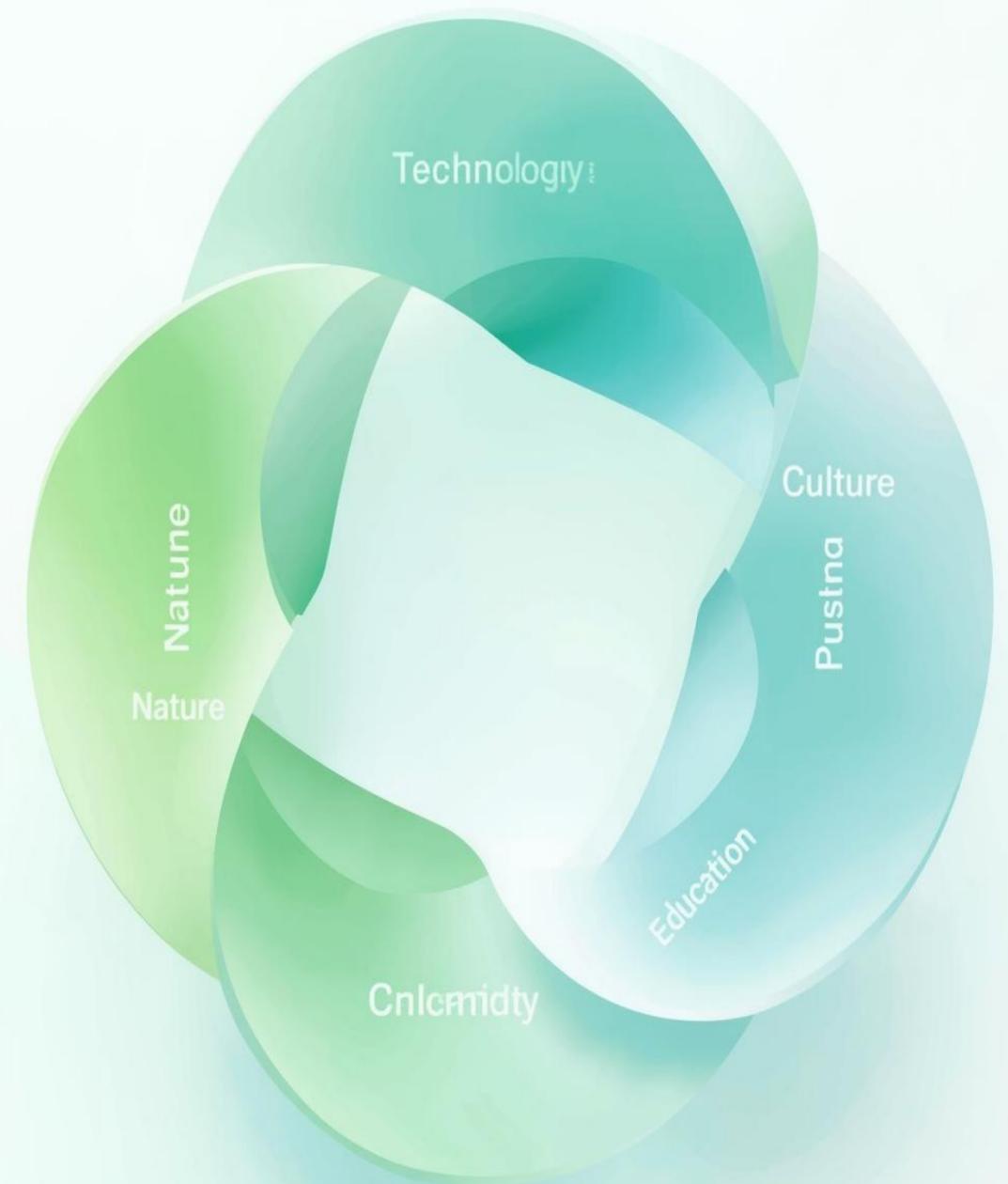
- 万博レガシーの中核として「静けさの森」を未来へ継承
- 自然 × 技術 × 文化 × 食 × 教育 を融合する共鳴型プラットフォーム
- 企業の技術やブランドを社会実装し、国際的に発信
- 地元密着と国際連携を両立し、未来社会の共鳴モデルを構築



FoRの基本理念と仕組み

— 共鳴型プラットフォームとしての活動方針 —

FoRは、「共鳴型プラットフォーム」として、
自然・技術・文化・教育の対話を起点に、
社会実装へとつながる循環的な仕組みの
構築に取り組んでいきます。



1. 生態系保全

- 森林・水系・生物多様性の保護と再生
- センシング・AI・IoT等の先端技術を活用した環境モニタリング

2. 次世代教育（ポストAI時代・Beyond SDGs）

- AI時代に不可欠な「問いを立てる力」の共創
- Beyond SDGsを見据えた教育モデルの構築と国際発信

3. 文化・芸術・社会実装

- アート・建築・デザインを通じた自然と人の関係性の可視化
- 企業との共創による未来社会のプロトタイプ開発と社会実装
- 自然と食文化を結ぶライフスタイルの提案
- 都市・文化・技術を統合したモデルの国内外への発信

4. 国際連携・発信

- 国際機関、海外文化施設、研究機関との協働
- 環境・教育・文化・都市モデルに関する国際的発信

活動の基本方針 （4つの柱）

FoRの社会的役割と機能

FoRは万博レガシーを「動かす」中心的なハブであり、行政や企業、文化などの多様な主体をつなげる重要な役割を果たします。

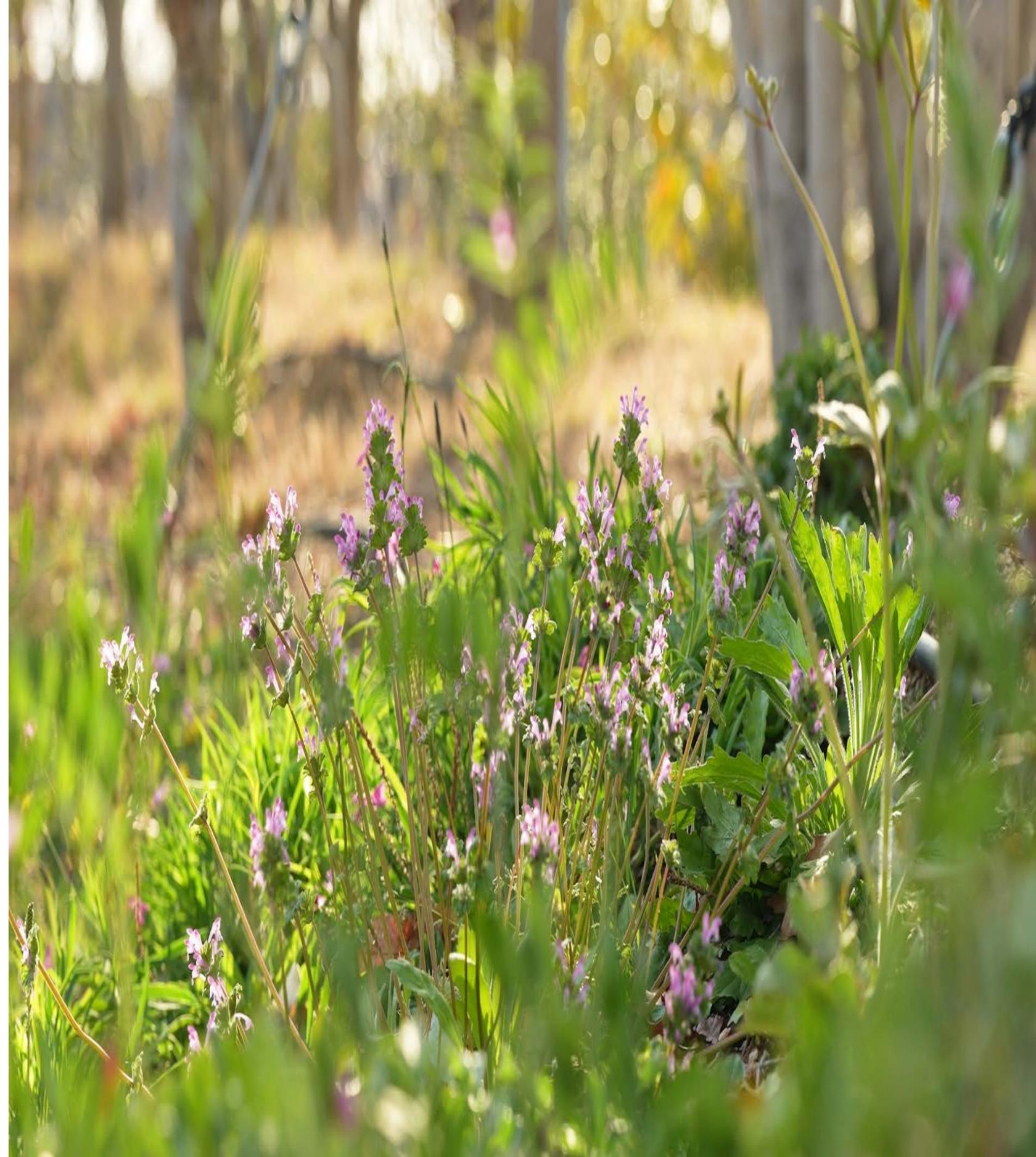
- ・ 森とパビリオンを舞台にした常設型自然、文化体験プログラムの運営
 - ・ 生態系データや先端技術を活かした環境保全、教育、展示プロジェクト
 - ・ 企業技術と文化を融合させた社会実装型プログラム
 - ・ 自然と食文化を通じた飲食イベントや国際的ライフスタイル提案
 - ・ 国際的アート、文化イベントやシンポジウムの開催



FoRの未来像と役割

FoRは万博レガシーを育て、広げる共創の場としての役割を果たし、持続可能な社会実装に向けた対話と協働を促進します。

- ・万博レガシーの中核として「静けさの森」を未来へ継承
- ・自然 × 技術 × 文化 × 食 × 教育 を融合する共鳴型プラットフォーム
- ・企業の技術やブランドを社会実装し、国際的に発信
- ・地元密着と国際連携を両立し、未来社会の共鳴モデルを構築



活動内容

アワード・対話開始

2026年の最初の活動として、アワードを開催。また、さまざまな分野の専門家を招き、対話の場を設け、問いの共有と整理を目指します。

企画イベント開催

アワード・対話の蓄積を基にした体験型・実装型イベントの開催を目指します。

定期的な報告

活動の成果を報告し、進捗を確認し、次のステップへとつなげる重要な機会を設けます。

フィードバックセッション

活動内容を振り返るフィードバックセッションを実施し、得られた知見を今後の活動に反映させることを目指します。

今後の展開

アワード・対話イベント

アワードを開催、また、各地域の参加者を招いた対話イベントを開催し、万博レガシーを深化させるための意見交換を行います。

展示会

2027年以降には、アワード・対話の成果をもとにした展示会などのイベントを開催し、参加者全員に新たな視点を提供します。

社会実装

地域との連携を深め、社会実装プロジェクトを展開し、地域社会に持続可能な変化をもたらすことを目指します。

国際協力

国内外の団体とのネットワークを構築し、国際的な協力を通じて新たな社会的課題に取り組んでいきます。



EXPO Futures Award

— 万博の問いを社会制度へ —

EXPO Futures Award

万博の問いを、未来社会の制度へ。

2025年大阪・関西万博は、
未来の「答え」ではなく、未来への「問い」を提示した。

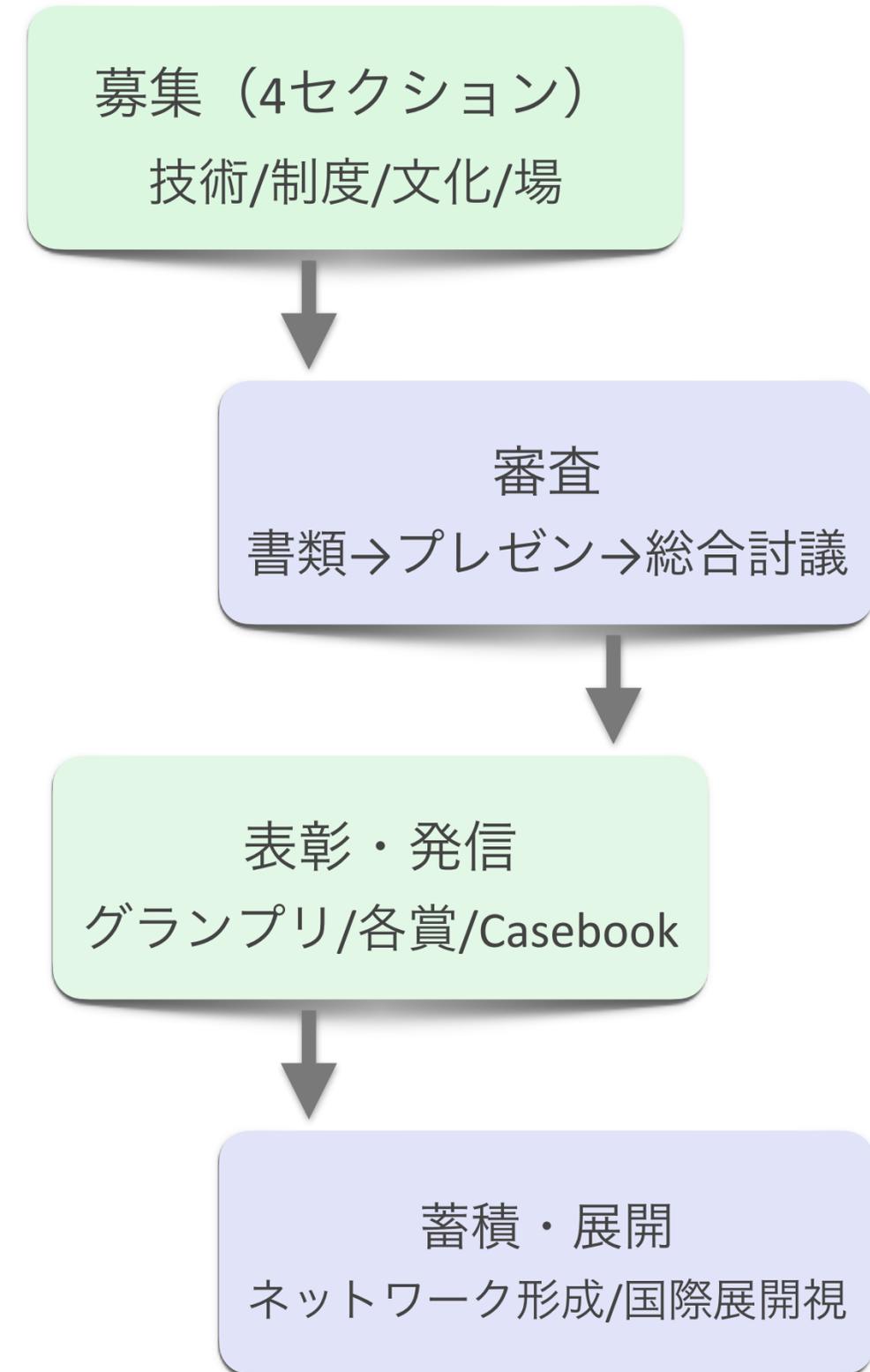
しかし万博終了後、
その問いや挑戦はどこに残るのか。

**EXPO Futures Awardは、
問いと挑戦を社会的トレンドへ転換する評価制度である。**



アワード実施プロセス

アワードは、公募から次年度への循環までの4つのステップを経て実施されます。





何を表彰するのか

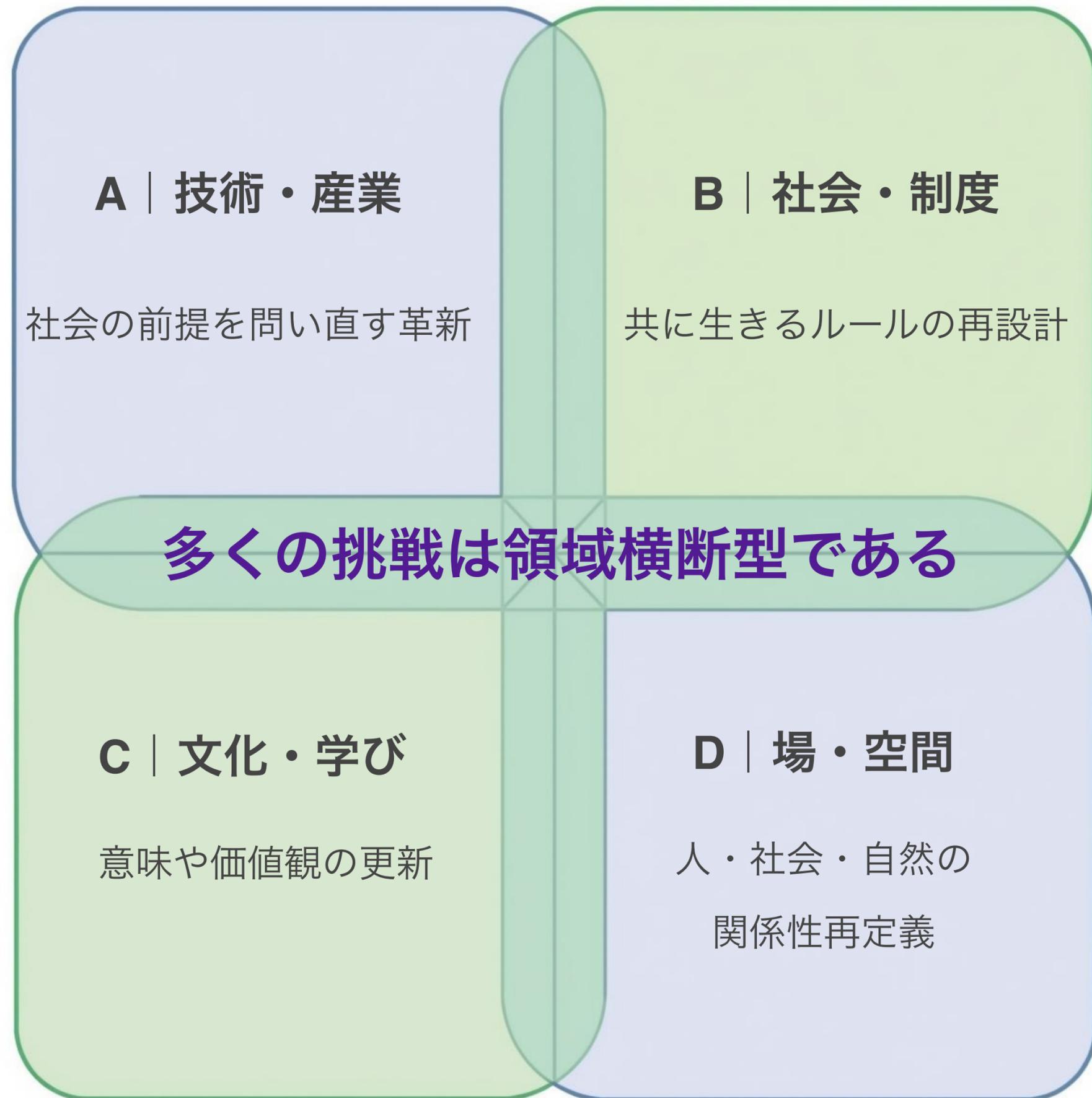
— 成果ではなく、価値観の変容 —

本アワードは優劣を競うものではない
光を当てるのは、

- ・ 社会の前提を問い直した挑戦
- ・ 人々の行動や関係性を変え始めた試み
- ・ 未完成でも、未来へつながる兆し

「価値観の変容」を可視化する

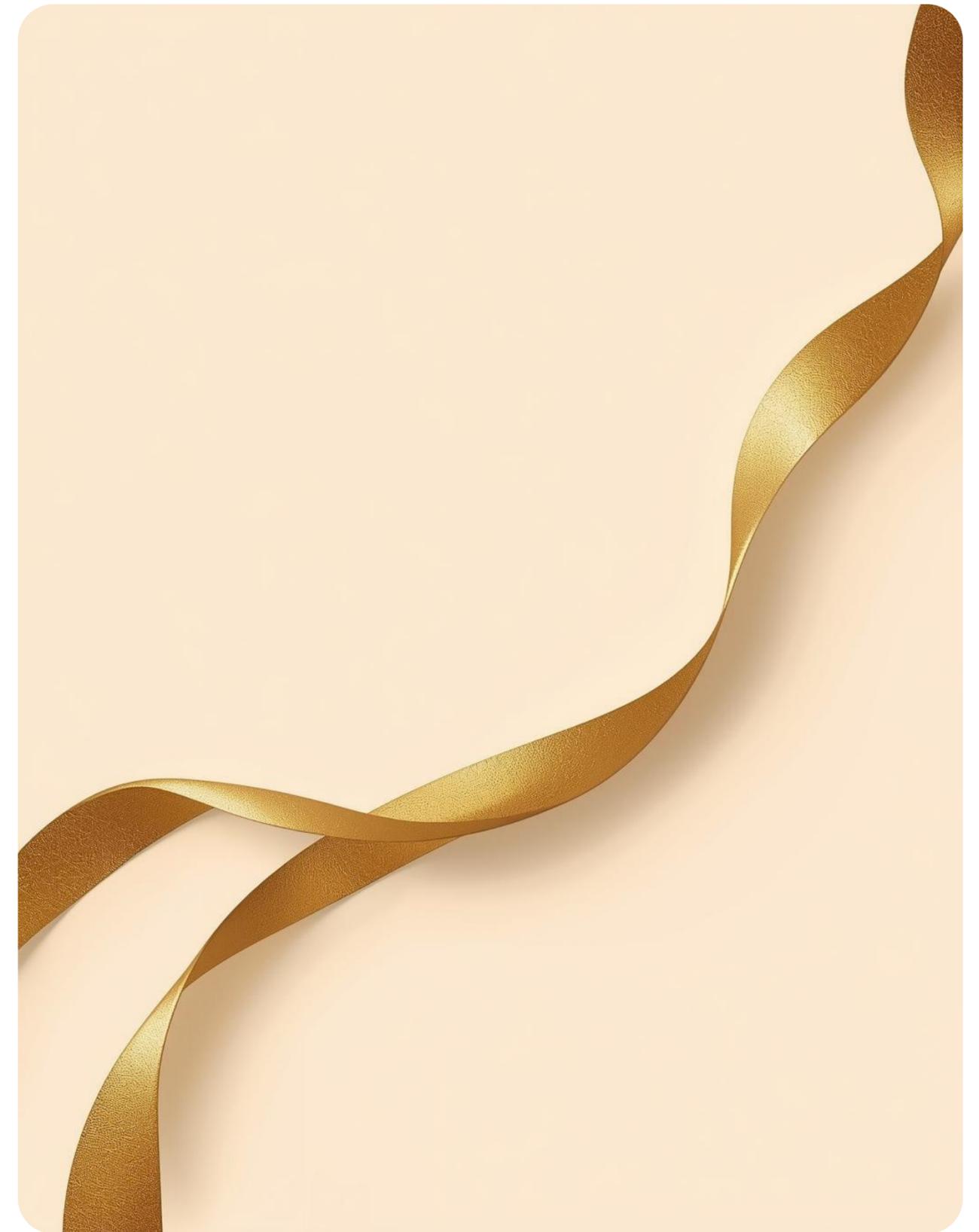
未来社会への挑戦領域 分野横断型アワード



賞の構成（初年度案）

グランプリ（1件）などの他に、万博思想の継承として万博で展開されたテーマウィークの精神を継承した賞などの設置も構想

万博の思想を、社会実践へ接続する



将来展望

単年度表彰に終わらせない

- ・ Casebookの蓄積
- ・ 受賞者ネットワーク形成
- ・ 国際評価・認証制度への発展

EXPO Futures Awardは、

未来社会を設計する“知のエコシステム”へ進化する

万博の問いを、持続する制度へ



Adobe stock

万博レガシーを共に育む

EoF